

学校法人東日本学園後援会  
— 後援会だより —

# Polaris

2015



## CONTENTS — 目次 —

学校法人東日本学園後援会 ..... pp. 2-5

TOPICS - 学園動向 - ..... pp. 6-7

学生生活助成事業実績 (平成26年度)

賛助会員ご芳名

📞 お問い合わせ先

編集

学校法人東日本学園後援会事務局  
(北海道医療大学 経営企画部総務企画課)  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
☎0133-22-2111 ✉soumu@hoku-iryu-u.ac.jp  
<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fubo>

皆様へ

空は深く澄み渡り、爽やかな秋晴れの続く季節、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本後援会活動に深いご理解と温かいご支援を賜り深く感謝申し上げます。

学生の皆さんが入学、進級されてから早半年が過ぎました。自然に囲まれた環境の中で、勉学又は課外活動にと、それぞれ充実した学生生活を送っているようでございます。

後援会は、学生に対する様々な支援を通じて、学生生活の快適な環境作りを大きな目的としております。今後とも、学生のサポート役、ご父母の皆様と卒業生、学園とを結ぶパイプ役、また、学園の牽引役として組織の強化、地区支部の活性化、大学と専門学校助成の充実を柱とした各種事業を推進して参りたいと存じます。

本会の更なる発展に向けまして、皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



学校法人東日本学園後援会  
 会長 三上 章 (業1期)

**役員一覧**

役員	
会長	三上 章 (業1期)
副会長	川上 智史 (歯1期)
理事	村上 睦 (業5期)
	田中 稔泰 (業3期、業5年ご父母、業同窓会長)
	義輪 隆宏 (歯1期、歯同窓会長)
	芦田 眞治 (歯4期、業4年ご父母)
	川村 武昭 (看3期、看同窓会長)
	小畑 友希 (福1期、福同窓会長)
常務理事	石黒 恵美子 (礼3期、業3年ご父母、言同窓会長)
	高見 裕勝 (北海道医療大学 学務部長)
監事	中條 英俊 (歯2、3、歯院3年ご父母)
	梶 美奈子 (衛2期、衛同窓会長)

顧問	
顧問	佐藤 元彦 (北海道医療大学 客員教授)

**支部役員**

道央	支部長	多田 正人 (業4期、業6年ご父母)	医療法人東札幌病院 ☎011-812-2311
	副支部長	坂東 信 (歯4期)	坂東歯科医院 ☎011-811-3410
道北	支部長	麻生 明 (歯1期)	豊岡歯科医院 ☎0166-32-2002
	副支部長	野田 敏宏 (業11期)	(有)十仁薬局 ☎0166-23-6611
道東	支部長	辻 浩人 (歯2期)	花園歯科医院 ☎0154-22-3342
	副支部長	高橋 貢 (業3期)	(株)たかし 本部 ☎0154-68-5455
道南	支部長	林 則幸 (業1期)	八雲総合病院 ☎090-9516-9758
	副支部長	久保田瑞尚 (歯3期、歯2年ご父母)	医療法人社団くぼた歯科医院 ☎0138-32-3232
東北	支部長	川元 裕史 (業5期、福1年ご父母)	サン製業工業(サングループ) ☎017-728-0110
	副支部長	加藤 伸生 (歯4期、歯2年ご父母)	医療法人社団かとう歯科医院 ☎0172-62-6480
関東	支部長	西野 郁郎 (業1期)	(有)西野自然堂薬局 ☎0293-42-0239
	副支部長	上田 豊 (歯1期)	上田小児歯科クリニック ☎03-3880-2831
関西	支部長	杉本 雅規 (業3期)	(有)すぎもと(いちご薬局) ☎0761-43-1151
	副支部長	川原 大 (歯1期)	川原歯科 ☎06-6991-3188
中・四国	支部長	齊田 健一 (業1期)	さいだ歯科医院 ☎0848-48-0014
	副支部長	勝原 聡 (業3期、業6年ご父母)	広島厚生病院 ☎082-286-6111
九州	支部長	藤井 茂仁 (歯4期)	(医)ルミエール歯科 ☎0977-24-8811
	副支部長	高階 豊晴 (業3期、業2年ご父母)	(株)高階誠心堂薬局 ☎0966-22-4633
沖縄	支部長	比嘉 保 (業3期)	社会医療法人仁愛会浦添総合病院 ☎098-878-0231
	副支部長	玉城 均 (歯1期)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

**概要**

**事業目的**

会員相互の交流を深めるとともに、会員と学園との関係を密にして、教育・研究・医療活動等を後援し、もって学園及び地域社会発展に寄与することを目的とする。

**事業内容**

- ・ 会員相互間及び会員と学園教職員との交流事業
- ・ 学生の厚生補導支援
- ・ 学園の社会及び国際交流支援
- ・ 学園の教育・研究・医療活動支援
- ・ 学園の施設・設備整備及び維持管理支援
- ・ 学園の広報支援
- ・ 学園の生涯学習事業支援
- ・ その他「事業目的」達成に関する事業

**会員**

- ① 学園に在籍する学生の父母又は学費支弁者
- ② 学園を卒業(大学院にあっては修了)した者
- ③ 本会の目的及び事業に賛同する個人又は法人

**役員・顧問**

- ・ 会長、副会長、常務理事各1名 (常務理事は学園役職者)
- ・ 理事7名以上10名以内
- ・ 監事2名

**役員の任期**

4年/再任妨げず

**会議**

- ・ 総会(入学式、学位記・卒業証書授与式終了後等)
- ・ 理事会(年2回)
- ・ 会議の成立=総会は出席会員、理事会は理事の過半数の出席
- ・ 議決=出席構成員の過半数

**会費**

入会金	5,000円 (法人賛助会員10,000円)
大学在學生(1号会員)	年額 30,000円 (毎年度) ※大学院生を含む
大学卒業生(2号会員)	30,000円 (卒業時) ※大学院生を含む
専門学校在學生(1号会員)	年額 10,000円 (毎年度)
専門学校卒業生(2号会員)	10,000円 (卒業時)
賛同する個人(3号会員)	年額 5,000円以上 5,000円単位
賛同する法人(3号会員)	年額 10,000円以上 10,000円単位

**地区別会員数**

(H27.5.1現在)





平成26年度事業報告

1. 運営事業

(1) 総会、理事会、支部長会議

- [ 総 会 ] ◎第1回総会(入学式同日開催)  
日 時 / 平成26年4月7日(月)  
報 告 / 後援会概要  
審 議 / 1. 平成25年度事業報告・決算  
2. 平成26年度事業計画・予算  
◎第2回総会(学位記授与式同日開催)  
日 時 / 平成27年3月13日(金)  
審 議 / 1. 平成26年度事業報告・決算  
2. 平成27年度事業計画・予算
- [ 理 事 会 ] ◎第1回理事会  
日 時 / 平成26年8月25日(月)  
報 告 / 1. 学園動向  
2. 「地区別懇談会」実施要領  
◎第2回理事会  
日 時 / 平成27年2月27日(金)  
報 告 / 1. 学園動向  
2. 入試結果(中間報告)  
審 議 / 1. 平成26年度事業報告・決算  
2. 平成27年度事業計画・予算
- [ 支部長会議 ] ◎支部長会議  
日 時 / 平成26年6月28日(土)  
報 告 / 1. 平成25年度支部活動状況  
2. 九十九祭協賛事業  
3. 平成26年度事業計画・予算  
4. 入試概要  
意見交換 / 1. 支部活動の活性化に向けて

(2) 地区別懇談会

10月13日(月)から11月3日(月)まで、全国10支部15地区16会場において開催し、829組1,171名(出席率24.2%)の皆様にご出席いただきました。  
◎道内7会場/札幌(2会場)、釧路、帯広、旭川、北見、函館  
◎道外9会場/青森、盛岡、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡、那覇

(3) 支部活動支援

- 支部活動支援  
全国10支部に対し、支部活動費用を補助しました。
- 支部懇談会の開催支援  
10月24日(金)道東支部懇談会
- 後援会周知  
1. 全国10支部協賛ニッポン全国特産品市/進路・就職・キャリア形成なんでも相談会  
2. 広報誌Polarisの発刊

(4) 会員連絡・調査、広報

- 会員に対し、以下の連絡・調査、広報を実施しました。
- 事業(地区別懇談会)開催案内
  - 会費納入通知
  - 会員名簿管理(同窓会との連携)
  - 新入生父母へ学生便覧等配布(入学式)
  - 在学生父母へ求人関係資料等配布(地区別懇談会)
  - 会員へ広報誌配布

(5) 学園式典助成

学生及び父母等へ記念品(軽食等)を配布しました。(入学式・学位記授与式)

(6) 周年記念事業準備支援

学園創立50周年記念事業に向けた準備支援を行いました。

(7) 第3号会員入会促進

本会の目的及び事業に賛同する法人(第3号会員)の入会促進のための活動を実施しました。

2. 学生生活助成事業

「学生生活助成事業実績(平成26年度)」参照

3. 同窓会等助成事業

(1) 同窓会活動支援

- 以下の同窓会活動の援助を実施しました。
- 薬学部同窓会 (会長: 田中 稔泰 3期)  
[看護福祉学部/看護、看護福祉学研究所/看護学、札幌医療専門学校/看護]
  - 歯学部同窓会 (会長: 養輪 隆宏 1期)  
[看護福祉学部/臨床福祉、医療福祉(医療福祉)、看護福祉学研究所/臨床福祉、札幌医療専門学校/介護福祉]
  - 福祉会 (会長: 川村 武昭 3期)  
[心理科学部/臨床心理、看護福祉学部/医療福祉(臨床心理)、心理科学研究所/臨床心理]
  - あいの理ST会 (会長: 石黒 恵美子 札幌専 8期)  
[心理科学部/言語聴覚療法、心理科学研究所/言語聴覚、札幌医療専門学校/言語聴覚療法・言語聴覚療法専攻]
  - 歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会 (会長: 梶 美奈子 2期)

平成26年度収支決算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

平成26年度決算は、平成27年4月8日(水)に監事2名による会計監査を経て、平成27年4月12日(日)に挙行された入学式後に開催した後援会総会において、出席者全員一致をもって了承されました。

【一般会計】

■収入の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	差異
会費収入	121,265,000	121,220,000	45,000
1号会員会費	103,465,000	103,660,000	△ 195,000
2号会員会費	17,300,000	17,190,000	110,000
3号会員会費	500,000	370,000	130,000
資産運用収入	20,000	13,871	6,129
前受金収入	16,080,000	16,275,000	△ 195,000
収入調整勘定	△ 16,015,000	△ 16,015,000	0
雑収入	0	285,135	△ 285,135
当期収入合計	121,350,000	121,779,006	△ 429,006
前年度繰越金	60,612,642	60,612,642	0
収入の部合計	181,962,642	182,391,648	△ 429,006

■支出の部

科目	平成26年度予算額	平成26年度決算額	差異
事業関係経費	110,932,000	94,787,476	16,144,524
旅費交通費	12,000,000	12,794,010	△ 794,010
通信運搬費	1,972,000	2,020,001	△ 48,001
印刷製本費	8,100,000	6,060,336	2,039,664
会議費	18,650,000	18,319,379	330,621
式典助成費	3,885,000	2,949,931	935,069
支部活動支援費	5,500,000	1,467,813	4,032,187
学生生活助成費	58,600,000	49,176,006	9,423,994
同窓会等助成費	2,225,000	2,000,000	225,000
管理経費	3,968,000	1,728,836	2,239,164
消耗品費	62,000	29,017	32,983
旅費交通費	600,000	461,080	138,920
通信運搬費	114,000	43,069	70,931
印刷製本費	352,000	270,276	81,724
会議費	400,000	204,501	195,499
業務委託費	2,000,000	497,523	1,502,477
慶弔費	120,000	107,594	12,406
雑費	120,000	115,776	4,224
用品費	200,000	0	200,000
周年事業準備積立金	10,000,000	10,000,000	0
予備費	2,000,000	0	2,000,000
当期支出合計	126,900,000	106,516,312	20,383,688
次年度繰越金	55,062,642	75,875,336	△ 20,812,694
支出の部合計	181,962,642	182,391,648	△ 429,006

【特別会計】

■周年事業準備積立金

科目	平成26年度
組入額(一般会計より)	10,000,000
資産運用収入	3,347
取崩額	0
積立金残額	30,005,068



総会  
(平成26年4月)



支部長会議  
(平成26年6月)



地区別懇談会  
(平成26年10・11月)

**平成27年度事業計画**

事業目的を達成するため、平成27年度は以下の事業計画に基づき運営を行います。

**1. 運営事業**

**(1) 総会、理事会、支部長会議**

- 〔総会〕 定例会：学園の入学式(4月)及び学位記・卒業証書授与式(3月)当日に開催  
臨時会：地区別懇談会(10月12日～11月1日)において開催
- 〔理事會〕 年2回開催し、事業計画・報告、予算決算等の審議
- 〔支部長會議〕 7月11日(土)開催し、支部の活性化について意見交換を実施

**(2) 地区別懇談会**

- 10月12日(月)から11月1日(日)まで、全国10支部15地区16会場において開催
- ◎道内7会場/札幌(2会場)、旭川、北見、釧路、帯広、函館
- ◎道外9会場/青森、盛岡、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡、那覇

**(3) 支部活動支援**

1. 支部活動支援  
全国10支部に対して、支部活動費用を補助
2. 支部懇談会の開催支援
3. (大学祭(九十九祭)における支部活動支援)

**(4) 会員連絡・調査・広報**

- 会員に対し、以下の連絡・調査、広報を実施

  1. 事業(地区別懇談会)開催案内
  2. 会費納入通知
  3. 会員名簿整理
  4. 新入生父母へ学生便覧等配布(入学式)
  5. 在学生父母へ求人関係資料等配布(地区別懇談会)
  6. 会員へ広報誌配布

**(5) 学園式典助成**

- 学生及び父母等へ記念品(軽食等)配布(入学式及び学位記・卒業証書授与式)

**(6) 周年記念事業の準備支援**

- 学園創立50周年記念事業の準備支援

**(7) 第3号会員の入会促進**

- 第3号会員(賛同する個人又は法人)の入会促進

**2. 学生生活助成事業**

**(1) 保健関係**

- 医療機関受診時の医療費一部負担に係る助成

**(2) 定期健康診断等**

- 定期健康診断・予防接種等に係る助成

**(3) 国家試験対策**

- 模擬試験等の国家試験対策に係る助成

**(4) 就職活動**

- 就職対策(特別キャリアデザイン講座、セミナー開催等)に係る助成

**(5) 学生教育研究災害傷害保険**

- 正課中等の傷害に対応した「学生教育研究災害傷害保険」に係る助成

**(6) 奨学金**

- 奨学金に係る助成

**(7) 新入生オリエンテーション**

- 新入生オリエンテーション(4月9日・10日)開催に係る助成

**(8) 海外語学研修参加学生の渡航**

- 海外語学研修参加学生の渡航に係る助成  
・カナダ アルバータ大学(8月4日～24日)

**(9) 海外の大学間・学部間連携大学への学生派遣**

- 渡航に係る助成

**(10) 課外活動**

- 課外活動に係る助成

**(11) 食堂等の運営**

- 食堂環境整備、サービス向上及びメニュー価格の低廉化等に係る助成

**3. 同窓会等助成事業**

**(1) 同窓会活動支援**

- 以下の同窓会活動の援助

1. 薬学部同窓会 (会長: 田中 稔泰 3期)  
〔看護福祉学部/看護、看護福祉学研究所/看護学、札幌医療福祉専門学校/看護〕
2. 歯学部同窓会 (会長: 袁輪 隆宏 1期)
3. 福慧会 (会長: 川村 武昭 3期)  
〔看護福祉学部/看護、看護福祉学研究所/看護学、札幌医療福祉専門学校/看護〕
4. 臨床福祉学科同窓会 (会長: 小畑 友希 1期)  
〔看護福祉学部/臨床福祉、医療福祉(医療福祉)、看護福祉学研究所/臨床福祉、札幌医療福祉専門学校/介護福祉〕
5. 臨床心理学科同窓会 (会長: 本谷 亮 1期)  
〔心理科学部/臨床心理、看護福祉学部/医療福祉(臨床心理)、心理科学研究所/臨床心理〕
6. あいの里ST会 (会長: 石黒 恵美子 札幌医専 8期)  
〔心理科学部/言語聴覚療法、心理科学研究所/言語聴覚、札幌医療福祉専門学校/言語聴覚療法、言語聴覚療法専攻〕
7. 歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会(会長: 梶 美奈子 2期)

**平成27年度収支予算書**

平成27年度予算は、平成27年2月27日(金)に開催された第2回理事会での審議を経て、平成27年4月12日(日)に挙行された入学式後に開催した後援会総会において、出席者全員一致をもって了承されました。

**【一般会計】**

**■収入の部**

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	差異
会費収入	124,145,000	121,265,000	2,880,000
1号会員会費	106,675,000	103,465,000	3,210,000
2号会員会費	16,970,000	17,300,000	△330,000
3号会員会費	500,000	500,000	0
資産運用収入	20,000	20,000	0
前受金収入	15,910,000	16,080,000	△170,000
収入調整勘定	△16,275,000	△16,015,000	△260,000
当期収入合計	123,800,000	121,350,000	2,450,000
前年度繰越金	75,875,336	60,612,642	15,262,694
収入の部合計	199,675,336	181,962,642	17,712,694

**■支出の部**

科目	平成27年度予算額	平成26年度予算額	差異
事業関係経費	115,562,000	110,932,000	4,630,000
旅費交通費	14,000,000	12,000,000	2,000,000
通信運搬費	2,322,000	1,972,000	350,000
印刷製本費	8,180,000	8,100,000	80,000
会議費	20,650,000	18,650,000	2,000,000
式典助成費	3,885,000	3,885,000	0
支部活動支援費	5,500,000	5,500,000	0
学生生活助成費	58,800,000	58,600,000	200,000
同窓会等助成費	2,225,000	2,225,000	0
管理経費	3,968,000	3,968,000	0
消耗品費	62,000	62,000	0
旅費交通費	600,000	600,000	0
通信運搬費	114,000	114,000	0
印刷製本費	352,000	352,000	0
会議費	400,000	400,000	0
業務委託費	2,000,000	2,000,000	0
慶弔費	120,000	120,000	0
雑費	120,000	120,000	0
用品費	200,000	200,000	0
周年事業準備積立金	10,000,000	10,000,000	0
予備費	2,000,000	2,000,000	0
当期支出合計	131,530,000	126,900,000	4,630,000
次年度繰越金	68,145,336	55,062,642	13,082,694
支出の部合計	199,675,336	181,962,642	17,712,694

全国10支部協賛「ニッポン全国特産品市」  
「進路・就職・キャリア形成なんでも相談会」を開催しました。(第37回九十九祭)

**ニッポン全国特産品市・なんでも相談会**  
進路・就職・キャリア形成

「ニッポン全国特産品市」は後援会全国10支部から集められた各地の選りすぐりの特産品、名産品、ご当地グルメ等を、有志の在学生の手によって在学生、高校生、一般の方へ提供することにより、北海道医療大学の全国性をアピールするとともに在学生と卒業生のかけ橋となるイベントとして4年連続で実施し、来場者の好評を博していました。  
また、今年度も「進路・就職・キャリア形成なんでも相談会」を同時に開催しました。このイベントは、進路や就職について実務経験豊富な卒業生や有識者に相談する機会を設けることで、相談した学生が将来の仕事のイメージを描き、来たる国家試験や就職試験に向けた意識づけを行うものとして大変有意義な場となりました。

**【協力学生、後援会支部からの支援者】**

**■協力学生(22名)**

道央	・佐藤 健司(薬6年) ・大久保 凛香(薬2年)	・多田 圭吾(薬6年) ・佐藤 誠(福2年)
道北	・矢部 くるみ(薬2年)	
道南	・岩下 千夏(薬2年) ・高見 友梨子(歯1年)	・増田 和樹(歯2年) ・川代 智貴(薬2年)
道北	・石戸谷 奈緒 (学生リーダー/薬6年) ・工藤 里紀(薬4年)	・一戸 彩生(薬2年)
	・逢坂 優花(薬6年) ・金野 智史(薬1年)	・小原 和(薬6年) ・金野 雅史(歯1年)
	・山本 亮平(薬6年) ・藤田 大生(理3年)	・亀山 航(薬5年)
関東	・大平 禎(歯5年) ・中嶋 洋敬(歯3年)	
中・四国	・勝原 祐樹(薬6年)	

**■支部支援員卒業生・相談員(9名)**

道南	・林 則幸 (支部長/薬1977卒)	・崎本 裕治(薬1997卒)
道北	・川元 裕史 (支部長/薬1981卒)	・金野 和子(薬1984卒)
		・神 一樹(薬2014卒)
関東	・小林 悟(薬1995卒)	・島川 大司(薬1999卒)
沖縄	・新垣 貴也(薬2014卒)	・新垣 順子

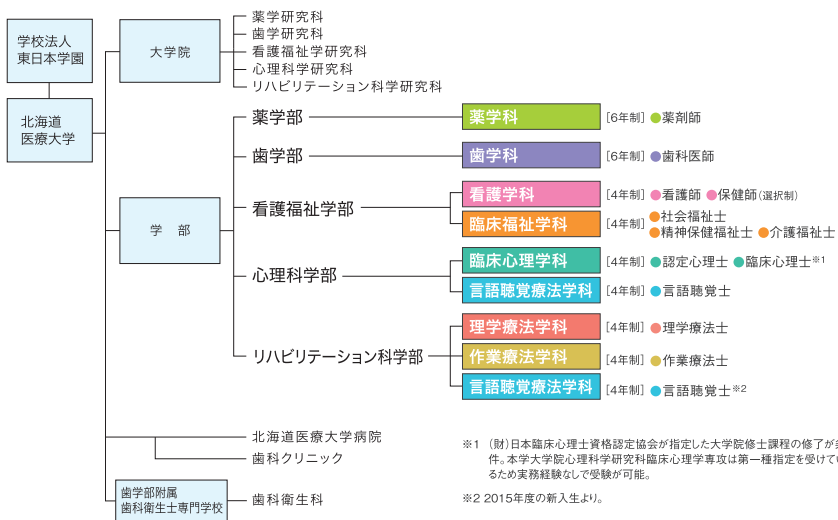


全国各地の特産品等

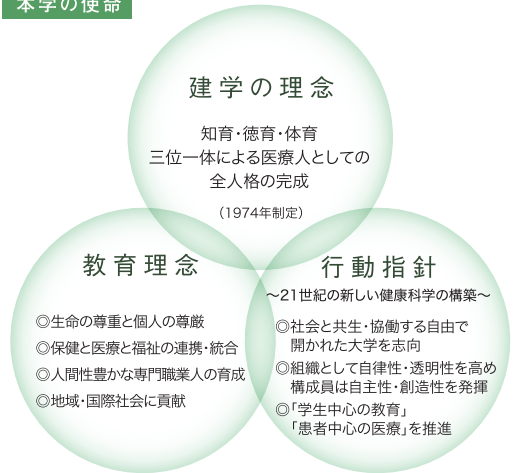
# 北海道医療大学は、 医療人をめざす人の力になります。



## 組織図

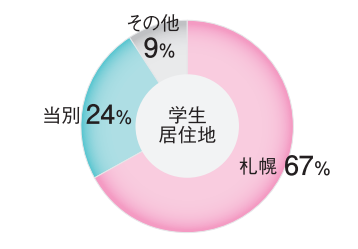
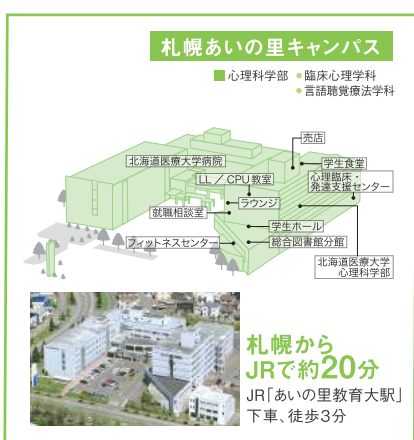
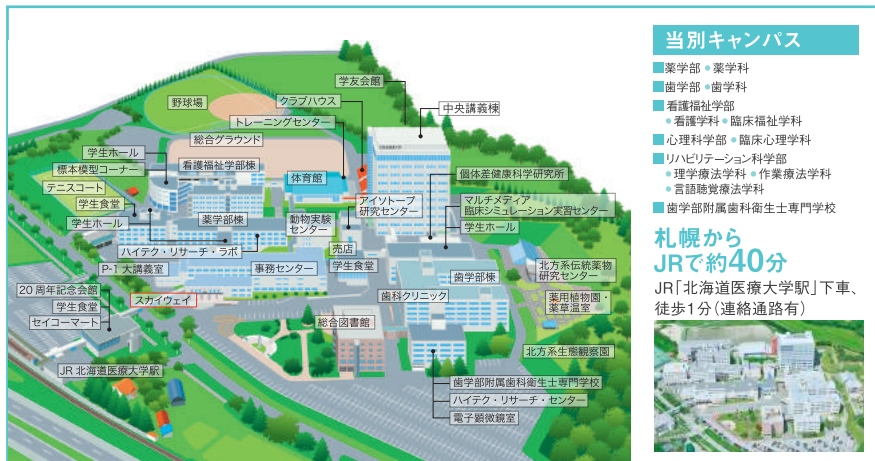


## 本学の使命



## 学生数と教員数 (2015.5.1現在)

学部等	学生		教員	教員一人当たり学部学生数
	学部・学校	大学院		
薬学部	1,125	13	67	16.8
歯学部	425	37	108	3.9
看護福祉学部	770	64	66	11.8
心理科学部	487	31	16	17.4
リハビリテーション科学部	473	15	51	13.4
学部計	3,280	160	308	10.7
個体差医療科学センター	-	-	13	全国私立大学教員一人当たり学部学生数平均 20.0名 (2015 学校基本調査)
個体差健康科学研究所	-	-	35	
認定看護師研修センター	-	-	108	
客員教授	-	-	5	
助手・臨床助手	142	-	5	
歯学部附属歯科衛生士専門学校	-	-	-	
合計	3,582	469		



当別キャンパス直結「北海道医療大学駅」  
大学名称がそのまま駅名となった全国的に珍しい駅です。

**スカイウェイ**  
JR駅と当別キャンパスはスカイウェイ直結で、雨や雪にあたる心配がありません。



「教育向上・改善プログラム」実施

2015年度より、教育の質の向上または改善に資する取り組みを支援することにより、教育の改善・改革を進めることを目的として、学内公募による「教育向上・改善プログラム」を実施しています。今回は合計で10の申請があり、うち5つを対象プログラムとして選定しました。これらのプログラムの実施により、更なる教育の質の向上が期待されています。

【選定プログラム一覧】  
(申請者及びプログラム名称)

模擬患者を中心とした多学部連携模擬病棟の構築 歯学部歯学科 / 千葉 逸朗 教授
学年を越えて学生が実施する反転学習 および体験学習の実施
リハビリテーション科学部 作業療法学科 / 本家 寿洋 教授
歯科衛生士の資質向上のため、 模擬患者とともに学ぶ歯科衛生過程の実践 歯科衛生士専門学校 / 杉原 佳奈 専任教員 岡橋 智恵 教務主任 坂倉 康則 副校長
「地域包括ケアシステム」を見据えた地域課題 解決能力を高めるためのセラピスト養成プログラム
リハビリテーション科学部 理学療法学科 / 鈴木 英樹 教授
多職種連携を志向したアクティブラーニングによる フィジカルアセスメント教育の開発 薬学部薬学科 / 和田 啓爾 教授

※申請者の職位は申請時のもの

「地域包括ケアセンター」の設置

急速なスピードで高齢化が進行する中、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生活を最期まで続けることができるよう、医療と介護のサービスを包括的かつ継続的に提供する「地域包括ケア体制」の構築が大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本学では、地域包括ケア体制の核となる在宅医療・介護を担う人材の教育・養成を目指し、また、高齢者ケア・認知症ケアなどに関する研究、質の高い在宅医療・介護サービスの提供などを行うことで、地域に根差した医療系総合大学としての役割を果たすため、札幌あいの里キャンパスに新たに「地域包括ケアセンター」を開設します(開設時期:2015年12月予定)。

【事業概要】

- 学生の実習施設、研修施設、研究施設として、在宅医療・介護を担う人材の育成を目指す。また、社会で活躍する専門職業人の生涯学習の場としての機能も兼ね備えることとする。
- 医療系総合大学の特色を生かし、看護師、リハビリ関係職、福祉職、薬剤師、歯科医師等の多職種連携による臨床教育及び実践の場とする。
- 本学大学院、地域の医療・福祉機関等と連携し、在宅医療・介護を支援する。
  - ①訪問看護事業
  - ②居宅介護支援事業

サハリン州との交流協定締結及び「健康科学に関するシンポジウム」を開催

7月3日(金)にサハリン州からガヴリルチク保健省副大臣、プシエカルスキ放射線専門医師、スタルチェフ腫瘍専門医師が本学を訪問され、本学との交流協定調印式、及び「健康科学に関するシンポジウム」を開催しました。

交流協定調印式では「保健医療福祉に関する問題の解決において力を合わせ、両国間の学術的協力発展、及び自国の国民に対し、必要かつ質の高い医療支援を提供する」という理念のもと、新川学長とガヴリルチク保健省副大臣との調印が行われました。

調印式の後に行われた「健康科学に関するシンポジウム」では、プシエカルスキ、スタルチェフ両氏によるプレゼンテーションに加え、本学より坂野心理科学部教授、高上馬薬学部准教授、千葉歯学部教授、鈴木リハビリテーション科学部教授、山田看護福祉学部教授による研究概要発表が行われました。

シンポジウム後の意見交換では、本学、サハリン州双方より今後の交流について活発な議論が行われ、専門領域が共通している分野から交流を進めていく方針となりました。今後は、サハリン州を開催地とする交流が行われる予定です。



交流協定調印式

国際交流の推進

2013年12月に、海外の大学及び教育研究機関等との連携に基づく教育・研究両面における国際交流の推進等を目的として設置した「国際交流推進室(Global Networking Office)」(室長:安彦善裕歯学部教授)を中心として各種の国際交流事業が進められています。

【国際交流事業:2015年1月~】

日付	内容
1月15日(木)	マヒドン大学(タイ)歯学部と本学歯学部との学部間交流協定の締結
1月26日(月)	サハリン州保健省第一副大臣らが本学を訪問
2月12日(木)	イエテボリ大学歯学部(スウェーデン)と本学歯学部との学部間交流協定の締結
3月7日(土)	台北医学大学(台湾)口腔医学院と本学大学院歯学研究科とのデュアルディグリー制度の提携締結(次頁参照)
5月16日(土)~23日(土)	台北医学大学第五回口腔医学院国際学術シンポジウムに歯学部学生が参加
5月22日(金)	インドネシア大学歯学部部長来学
7月3日(金)	サハリン州との交流協定締結及び「健康科学に関するシンポジウム」開催(上記参照)
7月6日(月)~7月17日(金)	台北医学大学との協定に基づく「短期留学プログラム」実施
7月14日(火)~8月7日(金)	中山大学(中国)との協定に基づく「短期留学プログラム」実施
7月29日(水)~8月12日(水)	イエテボリ大学との協定に基づく「短期留学プログラム」実施
8月3日(月)~8月27日(木)	台北医学大学との協定に基づく「短期留学プログラム」実施(右記参照)

海外大学との学生交流の推進

8月3日(月)から8月27日(木)までの4週間にわたり、本学と台北医学大学との協定にもとづく「短期留学プログラム」が実施され、同大学薬学部から2名、歯学部から3名、口腔衛生学から3名の計8名の学生が来学しました。

本プログラムでは、本学での授業をはじめ、薬学部では学外の調剤薬局見学実習、歯学部では本学大学院病院の見学、歯科衛生士専門学校では歯科診療補助実習等、それぞれ学部・学校の特色を活かした研修を行い、日本と台湾の薬学、歯学、口腔衛生学教育の違いを学びました。

8月27日(木)には報告会が開催され、本プログラムの修了証明書がそれぞれに手渡されました。

台北医学大学をはじめとする本学が協定を結ぶ海外の各大学との連携は年々強化されており、来春にも本学から学生を派遣する予定です。交流事業が充実すること、国際的な医療人の育成が進むことが期待されます。

札幌市立高等学校との連携事業「看護職・リハビリ職体験学習プログラム」実施

1月6日(火)、札幌市立高校(札幌旭丘高等学校、札幌開成高等学校、札幌清田高等学校、札幌啓北高等学校、札幌新川高等学校、札幌平岸高等学校、札幌藻岩高等学校、市立札幌大通高等学校)の生徒64名が「看護職・リハビリ職体験学習プログラム」のため本学を訪問しました。

このプログラムは、昨年に引き続き3年目となり、大学と高等学校の教育活動に対する相互支援を目的として実施されています。看護師、理学療法士、作業療法士の3分野に分かれ、午前中は模擬講義を、午後からは体験実習が行われました。

高校の授業とは違い、職業についての体験など大学ならではの講義に積極的に参加する姿が見受けられました。今回のプログラムでの経験をもとに将来の進路選択の一助となることが期待されています。



「作業療法士」分野のプログラムの様子

薬学生セミナー(学内就職相談会)開催

5月8日(金)、薬学部学生を対象とした薬学生セミナー(学内就職相談会)を開催しました。道内外の病院、行政等184団体の薬剤部門責任者、人事担当者等約330名の方々が来学し、学生に対し、就職に関する説明、相談等の対応をしていただきました。

◎「薬学生セミナー」参加団体等内訳

病院	薬局		製薬・卸等	行政等	合計
	道内	道外			
93	3	53	19	6	184



### 台北医学大学口腔医学院とデュアルディグリー制度の提携を締結

3月7日(土)、本学札幌サテライトキャンパスにおいて、本学大学院歯学研究科と台北医学大学口腔医学院(台湾)とのデュアルPh.D.ディグリー制度の調印式典が行われました。デュアルディグリー制度とは、大学院間で単位に一部互換を持たせ、互いに認める試験に合格し、提出された論文が両者から学位論文と認定された場合、それぞれの大学院から博士(Ph.D.)の称号が与えられるシステムです。

デュアルディグリー取得者は、高い英語力と国際感覚を身につけた優れた人材として、歯科医学分野で国際的に活躍することが期待されています。



調印式典

### 本学大学院生が「第5回日本学術振興会育志賞」を受賞

1月30日(金)、大学院歯学研究科博士課程歯学専攻4年(当時)の眞島いづみさんが「第5回日本学術振興会育志賞」を受賞しました。この賞は、天皇陛下からの御下賜金をもとに、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として2010年度に創設されました。今回の受賞は歯科学領域では初、また私立大学で3大目となる極めて栄誉ある受賞です。また、眞島さんは天皇后陛下下御臨席の下、3月4日(水)に日本学士院で開催された同賞授賞式に出席しました。



第5回日本学術振興会育志賞 賞状

### 特定行為研修の指定機関として指定

8月5日(水)、大学院看護福祉学研究科は保健師助産師看護師法に基づく特定行為研修の指定研修機関として北海道内で唯一、厚生労働省から指定を受けました。この制度は、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来する2025年に向け、今後の在宅医療を支える看護師を計画的に養成していくことを目的として創設され、本年10月1日(木)から施行される予定となっています。



特定行為研修指定研修機関指定証

### NP(ナース・プラクティショナー)資格認定試験に4名全員合格/認定看護師認定審査(試験)に49名合格

大学院看護福祉学研究科看護学専攻NP養成コースの第4期修了生4名全員が、日本NP協議会実施の「NP資格認定試験」に合格しました。

この試験は日本NP協議会において、NP(ナース・プラクティショナー)として必要とされる知識及び技能の習得を確認するための試験とされています。なお現在、NP教育を行う大学院として本学大学院は道内唯一の教育機関です。

また、日本看護協会が実施した2015年第23回認定看護師認定審査(試験)の結果が7月7日(火)に発表され、本学認定看護師研修センターからは51名が受験し、49名が合格しました。

### 教職課程卒業生12名が教員免許状取得

2008年度にスタートした看護福祉学部臨床福祉学科教職課程の、4回目の卒業生12名が定められた課程教育を終了し、以下のとおり教員免許状を授与されました。

本学で取得可能な免許状は「高等学校教諭一種(公民)」「高等学校教諭一種(福祉)」「特別支援学校教諭一種(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)」の3種類です。

◎取得状況

資格	取得者数
高等学校教諭一種(公民)	1名
高等学校教諭一種(福祉)	1名
高等学校教諭一種(公民及び福祉)	4名
高等学校教諭一種(公民) + 特別支援学校教諭一種	1名
高等学校教諭一種(公民及び福祉) + 特別支援学校教諭一種	5名

### 夢つなぎ入試

医療と福祉の分野において、将来活躍が期待される人間力豊かで有為な若人たちの進学への希望を経済的側面から支援するため、学納金の一部を免除する「夢つなぎ入試」を2009年度入試から実施しています。制度導入7年目となる今年度の申請者は188名で、内42名が支援対象者として決定しました。

また、地元「当別アパート組合」より、夢つなぎ入試の趣旨に賛同を得られ、12物件の経営者有志の方々に支援対象者に対する家賃優遇等(家賃13~50%割引、敷金割引・免除、優遇期間1年から卒業まで)の支援を受けています。

### 入学奨励金制度

複数の兄弟姉妹、本学卒業生の子女等の入学を奨励するため、学費支弁者に対し、入学奨励金(入学金相当額)を支給しています。募集時期は4月入学時期です。

◎2015年度支給実績

所 属		支給者(人)	支給額(千円)
薬 学 部	薬学科	21	6,300
歯 学 部	歯学科	12	3,600
看護福祉学部	看護学科	2	600
	臨床福祉学科	1	300
心理科学部	臨床心理学科	3	900
リハビリテーション科学部	理学療法学科	2	600
	作業療法学科	3	900
	言語聴覚療法学科	1	300
学部計		45	13,500
歯科衛生士専門学校		1	100
大学院		1	200
合 計		47	13,800

対象: ①本学を卒業した兄弟姉妹を含め、2人目以上の者  
②本学卒業生の子女  
③本学卒業生または在籍していた者

### 薬学教育・研究者育成奨学生制度

本学薬学部を卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望し、人物・学業成績ともに優れている薬学部入学生を支援する「薬学教育・研究者育成奨学生」制度を2013年度入試から導入しています。なお、今年度もセンター前期A入試と一般前期入試において実施します。

### 歯学部特待奨学生制度

人間性豊かな歯科医師を育成するため、学業・人物ともに優れた歯学部入学生の経済支援策として、在学中6年間の学納金を国公立大学の水準以下とする「歯学部特待奨学生」制度を2011年度入試から導入しています。なお、今年度もセンター前期A入試・一般後期B入試で実施します。

### 福祉・介護人材育成奨学生制度

人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、特に学業成績および人物に優れた看護福祉学部臨床福祉学科入学生に対する経済的支援策として、4年間の学納金総額を90万円とする「福祉・介護人材育成奨学生」制度を2014年度入試から導入しています。なお、今年度も一般前期入試・センター前期A入試・センター前期B入試において実施します。

別冊参照資料



求人関係資料  
(就職進路状況、国家試験実績)



生涯学習事業のご案内  
(セミナー・講座)

## 学生生活助成事業実績(平成26年度)

### 保健関係助成

17,116,006円

医療機関受診時の医療費一部負担に係る助成

#### 「診療費補助制度」で学生の健康管理をサポート



補助実績：3,205件(平成26年度)  
両キャンパスに医療機関があります。

学生の健康増進と医療費自己負担の軽減を目的に、学生の保険診療分の自己負担額の一部を「後援会」が補助する「診療費補助制度」があります。また、矯正歯科等の保険適用外診療に関しても30%を補助します。



### 就職活動に係る助成

4,000,000円

就職対策(特別キャリアデザイン講座、セミナー開催等)に係る助成

#### 合同就職相談会



開催日(本学体育館):  
5月8日、10月9日、12月3日

平成25年度以降の採用を計画している道内外の病院、薬局、社会福祉施設、行政機関、公的機関、一般企業等のべ300団体から人事担当者が来学し、仕事の内容や雇用条件等を説明いただきました。また、会場に専門のインストラクターを招き、面接対策や公務員等試験対策コーナー等も設け、学生の就職に向け、教職員教職一丸となってきめ細やかな指導を行っています。

### 定期健康診断等に係る助成

2,500,000円

定期健康診断、予防接種等の受診に係る経費を助成

### 新入生オリエンテーションに係る助成

3,500,000円

新入生オリエンテーション開催に係る助成

### 国家試験対策に係る助成

6,500,000円

模擬試験等、国家試験対策に係る経費を助成

### 食堂等の運営に係る助成

3,000,000円

食堂環境整備、サービス向上及び価格低廉化等に係る経費を助成

### 学生教育研究災害障害保険に係る助成

3,000,000円

正課中等の傷害に対応した「学生教育災害傷害保険」に係る経費を助成

### 奨学金に係る助成

6,000,000円

奨学金に係る経費を助成

### 海外語学研修補助

500,000円

語学研修参加学生の渡航に係る助成

### 海外の大学間・学部間連携大学への派遣に係る助成

560,000円

渡航に係る経費を助成

### 課外活動に係る助成

2,500,000円

課外活動に係る経費を助成

平成26年度 学校法人東日本学園後援会 賛助会員(第3号会員) ご芳名  
ご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。

- 株式会社アイミック 様
- カクイ協和産業株式会社 様
- 泉亭産業株式会社 様
- 株式会社アイレックス 様
- 株式会社キッズ・コーポレーション 様
- 株式会社ベルックス 様
- 青山塗装株式会社 様
- 株式会社近藤商會 様
- 公益財団法人 北海道結核予防会 様
- 株式会社市川造園 様
- 札幌住設株式会社 様
- 北成自動車株式会社 様
- 岩倉建設株式会社 様
- 株式会社サンプラント札幌支店 様
- 北泉化工株式会社 様
- N・Sフードシステム 様
- 末廣屋電機株式会社 様
- 丸善株式会社札幌支店 様 (五十音順)

## お問い合わせ先

### 当別キャンパス

☎ 0133-23-1211(代表) ☎ 0133-23-1669

北海道医療大学  
(薬学部・歯学部・看護福祉学部・心理科学部・リハビリテーション科学部)  
歯学部附属歯科衛生士専門学校

- 講義・成績・進級・卒業・各種証明書発行
  - ..... 薬学課 ☎0133-23-1091
  - ..... 歯学課及び歯科衛生士専門学校担当 ☎0133-23-1092
  - ..... 看護福祉学課 ☎0133-23-1094
  - ..... 心理科学課 ☎0133-23-1501
  - ..... リハビリテーション科学課 ☎0133-23-1165
- 通学・学生生活全般・就職・求人 ..... 学生支援課 ☎0133-23-1095
- 学納金 ..... 財務課 ☎0133-23-1067
- 後援会 ..... 総務企画課 ☎0133-22-2111
- 寄付金・札幌サテライトキャンパス ..... 教育研究推進課 ☎0133-23-1129

### 札幌あいの里キャンパス

☎ 011-778-8931(代表) ☎ 011-778-8941

北海道医療大学(心理科学部)  
(札幌医療福祉専門学校～平成16年3月閉校)

- 講義・成績・進級・卒業・各種証明書発行・学生生活全般  
..... 心理科学課

なお、就職・求人・学納金・後援会・寄付金に関しましては、  
左記の当別キャンパス各担当課にお問い合わせください。

北海道医療大学

検索

